



8面

意見書提出
採択した請願・陳情
議案の審議結果

7面・6面

予算に対する各会派の討論
(続)
委員会活動
・議会運営委員会
・常任委員会
・特別委員会

5面・4面

区長の施政方針説明
予算審査の概要
・主な総括質疑
・主な締めくくり総括質疑
・予算の審査経過
平成15年度予算の概要
予算に対する各会派の討論

3面・2面

区政のこをきく
本会議の一般質問要旨
初日
北野 榮一 議員(自民党)
保坂 正仁 議員(公明党)
相馬 堅一 議員(共産党)
小坂 真三 議員(尚志会)
2日
今村 真弓 議員(无所属)
斉藤 邦子 議員(共産党)

掲載記事のご案内

区政の「目」をみる

一般質問要旨

「戦後精査」と二世帯・三世帯住宅の促進について



北野 榮一 (自民党)

自治体としての「戦後精査」と真実の探求について
問 戦後、日本の歴史観が歪められてしまっていると感じる。わが国では、戦争の事実精査をしていくと戦争を肯定する危険思想と言われてしまう。こんな風潮は打ち破らなければならない。日本が真の独立国家となるためには、自虐史観を是正しなければならぬ。「日本が変わるのは今しかない。」と認識するが、自治体のトップとしての見解を問う。

答 かつて日本の地域社会では、人々が助け合い、思いやりをもって暮らしていたが、今では、精神的な価値よりも自らの権利意識を優先する自己中心的な生き方が蔓延し、国家、民族の存立すら危ぶまれていると認識している。

答 家族愛、家庭、地域の教育力、郷土愛、人間としての誇りや自信を教育の場で再構築する必要がある。戦後の歴史的な真実をどのように捉えていくかというところは、社会全体の課題として議論される必要がある。そこで明らかになった真実を教育の場で子どもたちに伝えることで、日本の歴史や国土に対する理解と愛情を深め、日本人としての主体性などが確立されていくようにしていくことが大切であると考えます。

問 二世帯・三世帯住宅の促進について
答 街のあり方として、二世帯・三世帯が共に暮らしていくことは当然のことであり、自然なことであると考えます。

問 二世帯・三世帯が共に暮らしていくことは当然のことであると考えます。そこで最も大きな課題が居住床面積の確保である。今回の都市計画法や建築基準法の改正の機を捉え、子育て世代の定住化を図れる住宅や老朽マンションの建て替え促進、土地の有効利用等、建ぺい率や集合住宅の容積率緩和が迅速に図られる地域指定の導入をはじめ、改正の骨子である規制緩和を活用すべきと考え、区の見解を問う。

答 今回の関係法改正は、区の地域特性を踏まえ、敷地の有効活用、老朽マンションの建て替え促進等について

○生涯健康都市「明らか」について

○産業振興について

○日暮里駅周辺の街づくりについて

○生涯健康都市「明らか」について

北朝鮮拉致問題と日暮里のまちづくりについて



保坂 正仁 (公明党)

北朝鮮拉致問題について
問 北朝鮮による拉致問題が表面化したこと、何の罪もない朝鮮学校の子どもたちに対する嫌がらせが続いている。誠に遺憾なことであり、区民としての進等にて期待できるものと認識している。区は、規制緩和を積極的に活用し、二世帯・三世帯の家族が住むことができる街づくりを進めたい。

答 現在、日朝国交正常化交渉は中断し、拉致問題の解決は極めて困難な状況にある。共産党が拉致問題解決の棚上げを図り、事態解決の足を引っ張ってきたことを北朝鮮帰国事業の推進役を果てすた自己保身の行動を繰り返していることに対し、マスコミや被害者家族等から厳しい批判が出ている。共産党は常に、自党の宣伝、プロパガンダに終始し、また、自党の路線・政策には全く過ちがないという無びょう性に固執した歴史を繰り返している。今回も独自の体質を露呈したものと受け止めている。

問 日暮里駅周辺開発関係プロジェクトは、日暮里地域や荒川区だけでなく、東京全体の観光開発事業の一大事業といえる。開発に先立ち明確な開発理念を早急に打ち出すべきでは。

答 民間主導により都市再生を強力に推進する緊急整備地域の早期指定を国や都に強く働きかける。昨年7月に日暮里駅交結節点調査検討会を立ち上げ、この度「ウエルカムタウン・ニッポリ」(東京のコンシエージュを指して)の方向性が出された。今後引き続き検討し開発理念を確立したい。

問 ひぐらしの里再開発と日暮里舎人線の進捗状況は。また、外国人観光客のサービスとして「ニッポリおたすけ隊」を育成すべきでは。

答 両事業とも平成19年の完成を目指し順調に進んでいる。今後、日暮里舎人線事業の推進を都に強く働きかけていく。ひぐらしの里再開発も再開発組合と協力し完成に向け、最大限の努力をして行く。また、「ニッポリおたすけ隊」創設はソフト面でのサービス向上を充実するためにも重要であり、今後、まちづくりのあり方の中で検討したい。

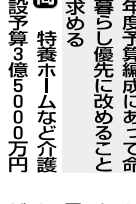
問 国内外の観光客用として、地域・商店街ロードマップを作成し、旅行会社のホームページへ掲載依頼すべきでは。

答 地域や商店街の活性化に有意義なことである。さらに情報を旅行会社等に提供し、全国にPRすることも大変重要なことであるので、地域と協力しながら作成に取り組んでいく。

問 行政改革について
答 福祉問題について

○福祉問題について

新年度予算編成と区民施設等の管理責任について



相馬 堅一 (共産党)

新年度予算編成にあつては、ひぐらし優先に改めることを求める

問 特養ホームなど介護施設予算3億5000万円削減を中止し、修繕費や必要な人配置の予算を補填すること。

答 区では、介護保険制度に基づく施設サービスについて、介護報酬で賄うことを原則として、委託方法や委託事項の見直しを行った。これらの見直しは、これまでの委託の考え方を大きく変えることになり、め、つなぎ資金的な意味合いでの介護報酬の受領について今年度中に措置する。また、施設の改修等については、施設ごとに積み立てられている施設改修積立金等の活用により、十分配慮していく。

問 お年寄りの介護保険料値上げを中止すること。

答 介護保険サービスの利用量の増大に伴い、介護保険料の引き上げが必要となるが、区ではその引き上げ幅を今年に生じた保険料の剰余金を6割充当することにより、極力圧縮することとして、条例の一部改正案を提案している。

問 区が建設費助成を行う北糞舎の代表者から区長が政治献金を受けるのは問題であり自粛すべきである。また、政治倫理確立のための条例制定の考えはないか。

答 区長就任以来、区との間に深い関係のある方からの政治献金は全て辞退している。政治倫理の問題は、自らが自らを律すべき問題であり、地方自治法等が整備されている現状では、条例は必要ないと考える。

問 公園・道路・区民施設等の管理責任について

答 荒川遊園地の事業変更計画を白紙に戻して区民の声を聞き直すこと。

問 今回の見直しは荒川遊園地の活性化とサービスの向上や経費の効率的執行を図るものである。今後、区民をはじめとするより多くの方々に親しまれる、区の観光名所としてほしい。都会のオアシスとしての魅力ある荒川遊園地を目指し、広い視野で検討していく。

問 施設や公園の安上が

り管理体制で責任が果たせるのか問う。

答 公園や道路の管理にあたっては、常に区民サービスの向上を念頭におき、委託可能な業務については、委託を拡大し、より効率的な管理体制を整備していく。

問 自転車駐車場の使用料の減免と学割制度、南千住東口自転車駐車場の3階の活用策を含め、緊急に明らかにすること。

答 自転車駐車場の使用料については、他の公共施設の使用料とともに、見直し作業を進めている。また、南千住東口自転車等駐車場の収容台数は、白鬚西地区等の再開発事業の完成を見込んだものであり、適正規模であると認識している。

その他の質問項目

○区内金融機関の統合の影響についての区の認識と対策を求める。

財政運営と防災対策について



小坂 眞三 (尚志会)

荒川区の財政運営について

問 厳しい財政状況の中、区民の誰もが豊かさを実感できる荒川区にするため、さらに行政改革を推進するとともに、施策の特定・重点化を図る必要があると考えるがどうか。

答 昨年5月に策定した「新たな行政改革推進のためのアクションプラン」に基づき、今後、4つの視点から施策の見直しを行う。

①施策の内容が区民ニーズとかけ離れていないか、

の向上を図りつつ、経費を削減できないか。

問 平成13年度一般会計決算で約1億円の剰余金が出たにもかかわらず、新たに起債を発行するのはなぜか。

答 起債は年度間の財源調整を図る効果があることにも、長く利用される公共施設については、世代間の負担の公平を図るといった側面がある。

問 旧道灌山中学校の日本語学校への貸し付けは、公平性に問題がある。区の財産を貸し付ける際には、借り主を公募すべきと考えるがどうか。

答 貸し付けに当たり、公有財産管理運用委員会と審議した。今回は、暫定利用するという旧道灌山中学校の位置付けを踏まえ、有利な価格で貸し付けられることなどから、公募によらず貸し付けを行った。

荒川区の防災対策について

問 東京都が公表した「地震に関する地域危険度調査」を区はどう評価するの。

答 調査結果では、荒川区は「建物倒壊危険度」「総合危険度」とともに高い地域となっている。

問 旭電化通りの道路拡幅の現状はどうか。また、整備に併せて、足立区との間に橋を新設すべきと考えるがどうか。

答 旭電化通りは、東京都の計画に位置付けられ、

ているが、まだ未着手となっている。整備にあたっては、路線を分割し、効率的な事業を執行する。

また、橋の建設については、足立区と連携を図りながら検討する必要がある。

問 行財政改革の一環として、民間への業務委託。区有財産の貸与や売却が進められているが、結果的に区民サービスの低下をもたらしている事例が見受けられる。委託・貸与・売却の際の基準をつくり、その後の評価システムとして区民参加の審査会設置を求める。

答 委託の際は、履行能力の十分な調査のもとに受託者を選定し、委託後の履行状況も管理・監督している。今後は利用者立場で厳しく評価し、チェック機能を一層充実していく。貸付先等の選定は、公有財産管理運用委員会等の審議を経るとともに議会に報告し、より適正な執行に努めている。

問 健康診査項目の充実と事業所健康診断補助制度をつくること。

答 区の基本健康診査では、国の基準以上の項目を行っている。小規模企業向けに低額健診事業もあり、制度の創設は予定していない。

問 働く母親が安心して子育てできる環境づくりのために。

答 児童期は言葉や身に付ける最も適した時期であり、今後も英語教育を推進する。

問 就学援助の基準を他区並に緩和すること。

答 就学援助の認定率は年々上昇し、他区と比べて高い状況にあるので、基準を引き上げる状況にはない。

区民の命を守る街づくりと生きる力を育む教育について



斉藤 邦子 (共産党)

区民の命を守り元気で長生きの荒川の街づくりのため

問 小児救急医療の体制強化のため専門医の派遣等総合的支援策を検討すること。

答 既に都が「開業医小児医療研修事業」などにより、強化・充実を図っている。

問 在宅酸素患者の濃縮器使用に要する電気代補助や医療助成を検討すること。

答 呼吸器機能障害程度が3級以上で一定の所得以下の方に自己負担分を全額助成している。電気代は医療保険の対象となっている。

問 健康診査項目の充実と事業所健康診断補助制度をつくること。

答 区の基本健康診査では、国の基準以上の項目を行っている。小規模企業向けに低額健診事業もあり、制度の創設は予定していない。

問 働く母親が安心して子育てできる環境づくりのために。

答 児童期は言葉や身に付ける最も適した時期であり、今後も英語教育を推進する。

問 学校間競争を強い学区域自由化や学力テストは見直すこと。

答 自由化及び学力向上のための調査を行い、各学校が切磋琢磨し、荒川区の教育を向上させていくことは大変重要なことである。

問 小学校での英語など上からの押し付けを止め、教育現場の自主性を尊重すること。

答 児童期は言葉や身に付ける最も適した時期であり、今後も英語教育を推進する。

問 就学援助の基準を他区並に緩和すること。

答 就学援助の認定率は年々上昇し、他区と比べて高い状況にあるので、基準を引き上げる状況にはない。

問 働く母親が安心して子育てできる環境づくりのために。

答 児童期は言葉や身に付ける最も適した時期であり、今後も英語教育を推進する。

第1回 定例会日程

- 2月19日 本会議
- 2月20日 本会議
- 2月21日 本会議
- 2月21日 総務区民委員会
- 2月21日 文教委員会
- 2月24日 保健福祉委員会
- 2月25・26・27日 建設環境委員会
- 3月3・4・5・7・10日 予算に関する特別委員会
- 3月13日 本会議

詳細については、現在作成中の会議録が出来た際、区立図書館・区役所2階の情報提供コーナーにおいて閲覧できますので、利用ください。



ありがとう!

平成15年度 予算を可決

平成15年度一般会計予算ほか3特別会計については、「予算に関する特別委員会」(議長を除く全議員で構成。委員長=菅谷安男、副委員長=戸田光昭)を設置し、2月25日から3月10日まで審査を行い、いずれも可決されました。



私の区政運営に関する所信の一端を申し上げます。私は区長に就任以来、区民の目線に立って、区民本位の施策を推進するため、走り続けてまいりました。区政は現在、大変厳しい状況にございますが、マイナス思考に陥り縮小均衡をめざすのではなく、自らの信念に従い、困難な課題に果敢にチャレンジし、道を切り拓くことにより、全国自治体のトップをめざすという気概で区政運営に臨む気持ちに変わりはありません。

本区の財政状況は実質的な赤字が8年連続し、今後2年間に約37億円の財源不足が見込まれるなど、健全

平成15年 区長の施政方針説明 (一部抜粋・要旨)

私の区政運営に関する所信の一端を申し上げます。私は区長に就任以来、区民の目線に立って、区民本位の施策を推進するため、走り続けてまいりました。区政は現在、大変厳しい状況にございますが、マイナス思考に陥り縮小均衡をめざすのではなく、自らの信念に従い、困難な課題に果敢にチャレンジし、道を切り拓くことにより、全国自治体のトップをめざすという気概で区政運営に臨む気持ちに変わりはありません。

な財政基盤の早期確立が求められています。このためには昨年策定した「新たな行政改革のためのアクションプラン」を着実に推進していく。一方、区民ニーズに

「7つの安心社会」の各分野で着実に事業を具体化し、推進していくところであり、新たな推進計画において、特に全庁的・横断的な取り組みが求められる事業を「5つの挑戦」として掲げました。

「7つの安心社会」の各分野で着実に事業を具体化し、推進していくところであり、新たな推進計画において、特に全庁的・横断的な取り組みが求められる事業を「5つの挑戦」として掲げました。

主な総括質疑

- 自 民 党**
 - 竹内 捷美 委員
 - 観光振興について
 - 区内の経済と産業振興について
 - 日暮里の街づくりについて
 - 茂木 弘 委員
 - 学力向上のための調査について
 - 小学校における英語教育について
 - 教育の予算について
 - 公 明 党**
 - 中村 尚郎 委員
 - 循環型コミュニティバスの運行について
 - 循環型コミュニティバスの導入に向けての1年間の検討と今後の方針について
 - 小林 行男 委員
 - 介護施設予算削減中止と修繕・人的配置予算の補填について
 - 高齢者の介護保険料値上げ中止について
 - 低所得高齢世帯の介護保険料減額制度の拡充について
 - 自 民 党**
 - 志村 博司 委員
 - 日暮里駅総合改善事業について
 - F T T H補助事業の実績と区の評価について
 - 15年度F T T H補助事業の予算計上について
 - 元 氣 ク ラ ブ
 - 金融庁による「金融検査マニュアル」の廃止について
 - 市 民 の 会**
 - 瀬野 喜代 委員
 - 部活動について

主な締めくくり総括質疑

- 自 民 党**
 - 北野 榮一 委員
 - 行政のスピードアップと議会との関係について
 - 拉致問題の認識と学校教育への反映について
 - 区防犯施策について
 - 区内の耐震性と安全対策について
 - 区内都営住宅の耐震性と安全対策について
 - 新たな防火規制の導入について
 - 災害に強いまちづくりと都市マスタープランの見直しについて
 - 公 明 党**
 - 武藤 文平 委員
 - 政策決定における議会への報告について
 - 行政改革とNPOの活用について
 - 元 氣 ク ラ ブ
 - 特養ホーム受託法人の選定基準について
 - 市 民 の 会**
 - 瀬野 喜代 委員
 - 職員に対する人権啓発について
 - 共 産 党**
 - 相馬 堅一 委員
 - 学校選択の自由化に伴う諸問題について
 - 学校給食の業者委託について
 - 志 会
 - 行政改革における区民施設の見直しについて
 - 鳥飼 秀夫 委員
 - 政策決定における議会への報告について
 - 行政改革とNPOの活用について
 - 今村 真弓 委員
 - 特養ホーム受託法人の選定基準について

予算の審査経過

- 2月25日(火)
 - 平成14年度一般会計補正予算(第3回)及び介護保険事業特別会計補正予算(第1回) 審査 いずれも原案とおり可決
 - 予算大綱説明(助役)
 - 総括質疑(6会派) ※主な質問項目は別掲
 - 一般会計歳出審査(議会費・総務費)
 - 2月26日(水)
 - 一般会計歳出審査(総務費)
 - 2月27日(木)
 - 一般会計歳出審査(総務費)
 - 3月3日(月)
 - 一般会計歳出審査(総務費)
 - 3月3日(月)
 - 一般会計歳出審査(総務費)
 - 3月4日(火)
 - 一般会計歳出審査(民生費)
 - 3月5日(水)
 - 一般会計歳出審査(民生費・衛生費・環境清掃費)
 - 3月5日(水)
 - 一般会計歳出審査(産業経済費・土木費)
 - 3月7日(金)
 - 一般会計歳出審査(土木費)
 - 3月10日(月)
 - 一般会計歳出審査(土木費・教育費・公債費・諸支出金・予備費)
 - 一般会計歳入審査(一括審査)
 - 締めくくり総括質疑(6会派) ※主な質問項目は別掲
 - 一般会計予算
 - 修正案(共産党提出) 採決の結果 否決
 - 原案 採決の結果 可決
 - 国民健康保険事業・老人保健医療特別会計予算 採決の結果 可決
 - 介護保険事業特別会計予算 採決の結果 可決
 - 修正案(共産党提出) 採決の結果 否決
 - 原案 採決の結果 可決

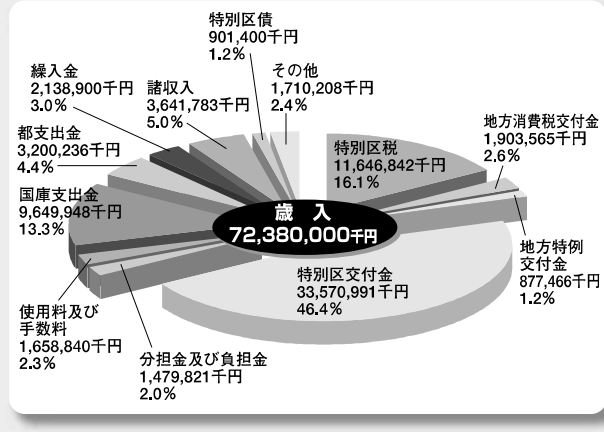
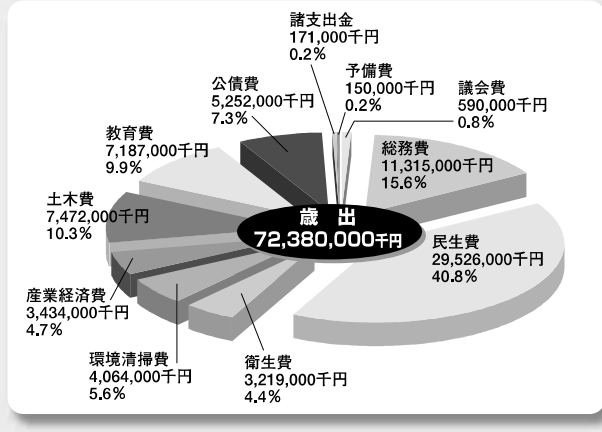
各会計の概要

(単位：千円)

	平成15年度予算額	平成14年度予算額	増減	増減率(%)
一般会計	72,380,000	73,610,000	△1,230,000	△1.7
特別会計				
国民健康保険事業	20,519,000	18,822,000	1,697,000	9.0
老人保健医療	17,634,000	18,678,000	△1,044,000	△5.6
介護保険事業	8,661,000	7,811,000	850,000	10.9
計	119,194,000	118,921,000	273,000	0.2

平成15年度 予算の概要

一般会計構成比



平成15年度予算をこう評価する

各派討論のあらまし

3月19日の本会議において、平成15年度一般会計予算について各派から討論が行われました。この討論がその要旨をお知らせします。

賛成

区の努力を評価、新年度予算は「荒川区の元気回復」の第一歩に

自民党

平成15年度一般会計予算、原案に賛成、修正案に反対の立場で討論を行う。

わが国の経済は、デフレが一層進み、消費者物価の下落にも歯止めがつかず、イラク情勢などの先行きの不安感、完全失業率の過去最悪の水準、不良債権処理の加速化による、企業倒産や失業がさらに増える可能性もあり、短期的には日本経済の下落し圧力が強まる傾向にある。

この現状下、政府は改革プログラムを実施するために、大型補正予算を編成している。施策が功を奏し、一刻も早く安定成長へつなげるよう、切に希望する。

この経済動向は荒川区の財政運営にも大きな影響を及ぼしている。わが党は、予算要望にあたり、区民の安心・安全はもとより、荒川区が「全国で一番住みやすい安全なまち」に再生することを目指し、真に必要な課題を積極的に推進する

ことを求めてきた。

区も職員定数の54名削減や管理事務費の削減など内部努力を一層進め、事務事業全般を見直している。その結果、予算規模では、前年度比、1.7%減で3年連続前年を下回っているが、要望した内容が随所に予算化されており、区長並びに区当局の努力を評価する。

具体的に「プロードバンドネットワークを活用した行政サービスの提供」は、より一層の区民サービスが可能となり期待する。要介護高齢者に対する「特別養護老人ホーム」の整備、公共交通機関を安全に利用できるようにエレベーター整備が計上され、バリアフリー化の推進が図られている。

「区内製品販売事業」は、区内企業の営業力強化・販路拡大を目指すものとして評価する。「区内企業中国進出支援事業」は、区内産業の一層の活性化が図られる新規施策と期待す

賛成

重点施策への予算を評価し、一層の区民サービス向上を望む

公明党

さらに、早急に民間の「観光連盟」の設立を希望する。

教育では、習熟度別学習の充実、さらに、「学習到達度調査」、「学習意識調査」を実施し、今後の教育に反映することを要望する。老朽化した学校施設の計画の改修、河川敷運動場の男女別水洗トイレの整備等、将来を担う子どもたちのための予算が組まれている。

震災対策では、計画的に学校や防災広場等に「マンホール対応型トイレ」の整備が図られている。

都市基盤整備では、日暮里駅周辺など駅前を拠点とした再開発の支援、都市計画道路の整備促進等、街づくり政策に積極的に予算化されている。日暮里駅周辺の再開発は積極果敢な取り組みを大いに期待する。

区長の施政方針説明における基本的方向性はわが区議団も考えを「一にするところ」である。予算委員会等における様々な提言について、も真摯に受け止めて、新年度予算が「荒川区の元気回復」の第一歩となることを強く要望する。

平成15年度予算編成にあたり、日頃の区民相談で受けた要望や区民生活に関する独自調査を踏まえ、区長に169項目の要望書を提出した。

これを受け、区は厳しい財政状況下、7つの安心社会推進計画に基づく施策に重点的に予算化する等、積極的な予算編成を評価する。

教育改革では、小学校英語教育の実施、習熟度別学習の一層の充実、学習の到達度や学習に対する意識に関する学力向上のための調査を実施する等、積極的な姿勢を評価する。今後、いじめ、登校拒否対策の充実強化、読書運動の仕組み作り等の検討を期待する。

福祉施策では、鉄道駅エレベーター等整備支援事業、心身障害者通所施設事業、障害者就労支援事業、区内5ヶ所目の特別養護老人ホームの建設支援等、一定の評価をするが、

高齢者や障害者のための成年後見制度の導入等について検討すべきである。

また、少子化対策では、認証保育所の開設、預かり保育補助、西尾久地域公民館園の整備、家庭福祉員の増員等、評価するが、児童手当の支給対象年齢の拡大や所得制限の緩和、子育て支援センターの設置等、今後の検討を期待する。

産業振興策では、事業革新・情報化支援事業、商店街活性化推進事業の取り組み等を評価する。

その他の分野でも、概ねわが党の主張、提案が予算化されており、区の努力を高く評価する。今後、国際淡水年を契機とした施策や本庁舎耐震工事の見直し・資源回収で集めた資源の持ち去り対策、循環型コミュニティパスの導入等、喫緊の重要課題を検討することを要望して賛成討論とする。

反対

区政の透明性、公平性を担保し、福祉・介護予算削減はやめること 共産党

新年度予算案の中で高齢者の介護施設、特養、グループホーム、日暮里在宅介護センターなどの建設着手、学校トイレ改修や少年野球場整備などについて、率直に評価できる。

一方、予算修正案に賛成し、原案の問題を指摘する。第1に特別養護老人ホーム・在宅通所センターの補助金を昨年の3億円に減らすこと、3億5千万円削減すること、施設運営が基本的に介護保険だけで行われることとなり、高齢者福祉予算削減によるサービス

低下と利用者負担増になる点である。第2に経費削減を至上命題にして、区民施設のサービス提供があるべきになるとも、区内業者の仕事が削減に、内容や質の確保が危惧される点である。第4に区民負担が一層強まっている中、高齢者の多くが家族介護に頼っており、区独自で介護費用の助成も求められている。第5には、税金

投入額の大きい再開発や施設づくりへの慎重な検討がなされていない点である。第6には、教育委員会が独自の教育的議論がなされない点であり、教育委員会は、各学校の自主的な取り組みを尊重し、30人学級など条件整備を行うべきである。

最後に、藤澤区長就任後、区長の関係者が区の仕事に参入したり、区有財産が様々な形で貸し付けられるなど危惧する状況にある。執行機関と議会との最低限の審議ルールの逸脱も繰り返されており、区政の透明性や公平性を担保するための執行機関の強い決意が求められていること。指摘し、反対討論とする。

賛成

区と議会は「車の両輪」、政策決定前に議会への報告を 尚志会

平成15年度荒川区一般会計予算について、何点か遺憾の意を表明して賛成の立場で討論を行います。

予算に関する特別委員会を設置し、予算に関して審議すべきところを、事前に常任委員会で審議すべきことを置き去りにして、なんでも予算委員会で審議するというのでは、時間制限を設けずに、無制限で予算委員会をすべきではありません。また、区と議会について、「車の両輪」といわれる

にふさわしい関係を築くために、「議会に対して区の決定を事後報告する」のではなく、議会軽視であり、これを何度も繰り返すことは、議会無視に値するものであります。藤澤区長就任以来、常任委員会で反省を求めたところであり、「事前に議会の意見を聞いてから決定する」よう強く改善を求めます。区長においても、予算という区政の一番重要な案件の提案者として、責任あ

反対

歯止めなき公有財産の貸与・売却に反対、地域経済を立て直しを第一に 元気クラブ

民間委託から公有財産の貸与、売却へと新たな段階に進む行政改革は、多国籍企業支援のための「小さな政府」に呼応するものだ。

第1に東日暮里三丁目児童遊園の閉鎖とマンション建設業者への貸与は、街づくり、住宅政策上の位置付けがなく、公有地を閉鎖してまで貸す裏づけがない。第2に那須の保養所のピュートルへの貸与は利益の半分を区に還元するという条件と違い、初年度は？

割しか還元されていない。第3に、当初から不採算が懸念された荒川遊園地下駐車場の区外民間会社への貸与は、やり方が乱暴だ。第4に、多額の区財政をつぎ込んだ特養ホーム等の区有施設を民間に無償貸与しようとしている。歯止めなき公有財産の貸与、売却は無責任であり反対だ。

来年度予算には、深刻な雇用問題に対する区の積極策がない。地域経済を立て直しを第一に、政策決定方法の見直しを強く要望する。

賛成

情報公開と区民参画を 目指した区政を 市民の会

だれもが健康で生き生きと暮らせる生涯健康都市づくりが区の施策の中心課題となったことを歓迎する。あらかわ遊園の民間貸し付け問題は、区の議会軽視、区民軽視の表れである。区の独走は許されなことを胆に銘じるべき。福祉分野の民間活力導入に際しては、保育や介護の質を高める努力、第三者評価制度の定着を要する。緑を増やすこと、省エネ、雨水利用など環境への

取り組みが大切。照り返し防止、CO2削減、騒音の軽減に効果がある都電軌道の敷設や芝生化を交通局に要望された。女性の就労支援策に期待。子ども達には世界に通用する歴史認識を教えるよう留意された。徹底した情報公開と市民参画を期待する。



区と議会は「車の両輪」、政策決定前に議会への報告を 尚志会

委員会活動 10月17日～3月13日 平成14年第3回定例会終了後のから平成15年第1回定例会最終日の間の各委員会の活動状況をお知らせします。

議会運営委員会

- 11月13日 第4回定例会の運営に関する事項について
11月25日 陳情の所管委員会への参考配付について
11月29日 追加議案の提出について
議場への国旗・区旗の掲揚について
12月2日 本会議2日目に提出された動議の取扱いについて
12月4日 第4回定例会の最終日の議事日程等について

常任委員会

- 11月14日 運営及び施設整備のあり方について
11月19日 第4回定例会提出予定案件について
11月29日 講演会を開催
11月29日 議案審査
荒川区長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例
荒川区教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例
職員への給与に関する条例の一部を改正する条例
(いずれも原案どおり決定)
特別区競馬組合規約の一部を変更する規約
採決の結果
原案どおり決定

総務区民委員会

- 10月24日 (所管調査事項)
新たな区民ひろばの事業
(所管調査事項)
(所管調査事項)
2月6日
平成14年度荒川区一般会計補正予算案(第3回)について
平成15年度荒川区一般会計予算案について

・第1回定例会提出予定案について
 ほか

利用について
 11月15日
 ・〔所管調査事項〕
 ・学校選択自由化に伴う希望校申込状況について

10月25日
 ・〔所管調査事項〕
 ・第2期荒川区高齢者プラン中間のまとめ(案)について

部を改正する条例
 (いずれも原案どおり決定)
 ・荒川区国民健康保険条例の一部を改正する条例

・集団回収への移行に向けてモデル実施について
 ほか

2月24日
 ・〔議案審査〕
 ・荒川区管理道路条例の一部を改正する条例

・第5回地震に関する地域危険度測定調査及び「避難場所等」の指定について
 ・本庁舎耐震改修工事に係る指名プロポーザルの実施について

11月7日
 ・〔調査研究事項〕
 ・「J良常磐線の南千住駅の概要について」
 ・つくばエクスプレスの事業計画の見直しについて

11月7日
 行政視察を実施(香川県高松市)

〔議案審査〕
 ・荒川区議会議員の報酬等の特例に関する条例の一部を改正する条例

11月29日
 ・〔議案審査〕
 ・幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

10月29日
 行政視察を実施(熊本県熊本市・佐賀県武雄市)

〔陳情審査〕
 15年8号陳情
 (採決の結果 不採択)

1月23日
 ・〔所管調査事項〕
 ・東日暮里三丁目児童遊園用地の使用許可について

特別区道荒299号線の路線の認定について
 特別区道第161・2号線の路線の廃止について

11月6日
 行政視察を実施(兵庫県姫路市・京都府亀岡市)

11月12日
 ・〔調査研究事項〕
 ・つくばエクスプレスの駅名称について

11月12日
 ・〔調査研究事項〕
 ・荒川区民会館(サンパール荒川・ムーブ町屋等の維持管理方法の見直しについて

〔採決の結果 否決〕
 ・荒川区条例の左横書き等の整備に関する条例

〔原案どおり決定〕
 ・〔所管調査事項〕
 ・峡田小学校における新入生の受入学級数の変更について

12月2日
 ・〔議案審査〕
 ・荒川区精神障害者地域生活支援センター条例

〔陳情審査〕
 14年20号陳情
 (採決の結果 不採択)

2月7日
 ・平成15年度荒川区一般会計予算
 ・第1回定例会提出予定案について

〔採決の結果 不採択〕
 ・〔環境美化推進モデル地域〕の指定について

11月5日
 行政視察を実施(愛媛県松山市)

11月12日
 ・〔調査研究事項〕
 ・日暮里・舎人線建設促進協議会研修会及び総会に参加

2月18日
 ・〔調査研究事項〕
 ・荒川区民会館(サンパール荒川・ムーブ町屋等の維持管理方法の見直しについて

(いずれも原案どおり決定)
 ・荒川区児童クラブの運営に関する条例の一部を改正する条例

1月16日
 ・〔所管調査事項〕
 ・学力向上のための調査の実施について

12月20日
 ・〔所管調査事項〕
 ・国民健康保険被保険者証の1人1枚化について

10月25日
 ・〔所管調査事項〕
 ・計画年度が終了する都市防災不燃化促進事業の取り扱いについて

14年22号陳情
 (採決の結果 不採択)

〔採決の結果 不採択〕
 ・〔環境美化推進モデル地域〕の指定について

11月5日
 行政視察を実施(愛媛県松山市)

11月12日
 ・〔調査研究事項〕
 ・日暮里・舎人線建設促進協議会研修会及び総会に参加

2月18日
 ・〔調査研究事項〕
 ・荒川区民会館(サンパール荒川・ムーブ町屋等の維持管理方法の見直しについて

〔いずれも採決の結果 原案どおり決定〕
 ・荒川さつき会館条例の一部を改正する条例

2月6日
 ・平成15年度荒川区一般会計予算
 ・第1回定例会提出予定案について

1月17日
 ・〔所管調査事項〕
 ・社会福祉法人による特別養護老人ホームの建設について

11月15日
 ・第4回定例会提出予定案について

〔採決の結果 不採択〕
 ・〔環境美化推進モデル地域〕の指定について

11月5日
 行政視察を実施(愛媛県松山市)

11月15日
 ・〔調査研究事項〕
 ・災害時における自転車の提供及び応急修理に関する協定について

1月24日
 ・〔調査研究事項〕
 ・つくばエクスプレス及び

2月18日
 ・〔調査研究事項〕
 ・荒川区民会館(サンパール荒川・ムーブ町屋等の維持管理方法の見直しについて

(修正案採決の結果否決)
 原案 可決

2月21日
 ・〔議案審査〕
 ・小学校における英語教育の実施について

2月7日
 ・平成15年度荒川区一般会計予算
 ・第1回定例会提出予定案について

12月2日
 ・〔議案審査〕
 ・特別区道路線(荒298号線)の認定について

11月15日
 ・第4回定例会提出予定案について

11月5日
 行政視察を実施(愛媛県松山市)

11月15日
 ・〔調査研究事項〕
 ・災害時における米穀供給に関する協定について

1月22日
 ・〔調査研究事項〕
 ・平成14年度避難所開設(重点地区)訓練及び大規模市街地発災型訓練の実施結果について

2月18日
 ・〔調査研究事項〕
 ・荒川区民会館(サンパール荒川・ムーブ町屋等の維持管理方法の見直しについて

文教委員会

10月24日

〔所管調査事項〕
 ・南千住図書館における無線LANサービスの実施

保健福祉委員会

(原案どおり決定)

〔議案審査〕
 ・幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

2月24日

〔議案審査〕
 ・荒川区立心身障害者福祉センター条例の一部を改正する条例
 ・荒川区立知的障害者援護施設条例の一部を改正する条例
 ・荒川区立生活寮条例の一部を改正する条例

建設環境委員会

(採決の結果 不採択)

〔陳情審査〕
 15年8号陳情
 (採決の結果 不採択)

1月23日
 ・〔所管調査事項〕
 ・東日暮里三丁目児童遊園用地の使用許可について

特別区道荒299号線の路線の認定について
 特別区道第161・2号線の路線の廃止について

11月6日
 行政視察を実施(兵庫県姫路市・京都府亀岡市)

11月12日
 ・〔調査研究事項〕
 ・つくばエクスプレスの駅名称について

2月18日
 ・〔調査研究事項〕
 ・荒川区民会館(サンパール荒川・ムーブ町屋等の維持管理方法の見直しについて



特別委員会

交通体系・拠点開発調査特別委員会

11月6日

行政視察を実施(兵庫県姫路市・京都府亀岡市)

11月12日

〔調査研究事項〕
 ・つくばエクスプレスの駅名称について

11月12日

〔調査研究事項〕
 ・日暮里・舎人線建設促進協議会研修会及び総会に参加

1月24日

〔調査研究事項〕
 ・つくばエクスプレス及び

跡地利用・施設活用調査特別委員会

11月7日

行政視察を実施(香川県高松市)

2月12日

〔調査研究事項〕
 ・荒川区民会館(サンパール荒川・ムーブ町屋等の維持管理方法の見直しについて

震災対策調査特別委員会

11月5日

行政視察を実施(愛媛県松山市)

11月15日

〔調査研究事項〕
 ・災害時における自転車の提供及び応急修理に関する協定について

11月15日

〔調査研究事項〕
 ・大規模市街地発災型訓練について

1月22日

〔調査研究事項〕
 ・平成14年度避難所開設(重点地区)訓練及び大規模市街地発災型訓練の実施結果について



意見書提出

本定例会では、2件可決し
関係機関に提出しました。

都市計画税等の軽減措置の継続を求める意見書(要旨)

平成十四年度に実施された「小規模非住宅用地に対する固定資産税・都市計画税の二割減措置」は、中小零細企業等に、事業の継続や経営の健全化を図るための大きな力を与えてくれました。

また、昭和六十三年度から実施されている「小規模住宅用地に対する都市計画税を二分の一とする軽減措置」も、区民の定住や地域の振興に有効な施策として、すでに定着しております。

これらはいずれも期間限定の措置とされており、先が、先の都議会で、来年度も継続したいとの石原都知事の表明がなされました。

よって、荒川区議会は、東京都に対し、都税条例の改正など、これら軽減措置等の継続に必要な条件整備を進め、平成十五年以降における実施を円滑かつ確実にを行うよう強く要請します。

(東京都知事あて)

「環境教育・学習推進の指針と枠組み」の早期制定を求める意見書(要旨)

今日、持続可能な社会を構築することが、全人類共通の課題であります。

そのためには、持続可能な社会の実現に向けて積極的に行動する人材を育てていくことが不可欠であります。

これまで、わが国における環境教育・学習は、学校教育や社会教育のなかで行われてきましたが、必ずしも総合的かつ体系的な取り組みはなされていません。

昨年の国連総会において採択された「国連持続可能な開発のための教育の十年」に関する決議は、二〇一五年より実施されることとなり、国内での環境教育・学習の推進のための体制整備が緊急の課題であります。

よって、荒川区議会は、政府に対し、環境教育・学習と実践についての総合的かつ体系的な取り組みを推進するための「環境教育・学習推進の指針と枠組み」を早急に制定するよう強く要請します。

(内閣総理大臣・文部科学大臣・環境大臣あて)

採択した 請願・陳情

採択

● 住宅密集地の入口にあたる狭小路に面している南千住六丁目五十二番八号の所有地を民間に売却しないよう都に働きかけることを求める請願

● 「小規模住宅用地にかかる固定資産税・都市計画税の軽減措置」の継続を求める意見書を東京都に提出することに関する請願

● 「小規模非住宅用地にかかる固定資産税・都市計画税の減免措置」の継続を求める意見書を東京都に提出することに関する請願

● 第二峡田小学校に児童クラブの設置を求める陳情

● 趣旨採択
上尾久ひろば館建て替えに伴う上尾久児童クラブ施設の設置場所及び新ひろば館に関する陳情

● 上尾久ひろば館建て替えに伴う仮施設の設置場所に関する陳情



議案の審議結果

平成15年第1回定例会

○ 賛成 × 反対 ー 退席 太字は討論のあったことを示す

議案番号・議案名	会派名・結果 (数字は、会派人員)		自	公	共	尚	元	市	結
	民	党	民	明	産	志	気	民	果
	12	6	6	6	6	2	1		
議員提出議案(5件)									
第1号	都市計画税等の軽減措置の継続を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	可決
第2号	荒川区議会議員の報酬等の特例に関する条例の一部を改正する条例	×	×	○	×	○	○	○	否決
第3号	「環境教育・学習推進の指針と枠組み」の早期制定を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	可決
第4号	荒川区議会委員会条例等の左横書き等の整備に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第5号	荒川区議会会議規則等の左横書き等の整備に関する規則	○	○	○	○	○	○	○	可決
区長提出議案(27件)									
第1号	荒川区住民基本台帳ネットワークシステムの適正管理等に関する条例	○	○	×	○	×	×	×	可決
第2号	荒川区管理通路条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第3号	荒川区職員定数条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	○	可決
第4号	職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第5号	職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第6号	荒川さつき会館条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	可決
	荒川さつき会館条例の一部を改正する条例(修正案)	×	×	○	×	×	×	×	否決
第7号	荒川区児童クラブの運営に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第8号	幼稚園教育職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第9号	荒川区立心身障害者福祉センター条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第10号	荒川区立知的障害者援護施設条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第11号	荒川区立生活寮条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第12号	荒川区国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	×	×	可決
第13号	荒川区介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	○	可決
第14号	荒川区立公園条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	×	○	○	可決
第15号	荒川区立児童遊園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第16号	荒川区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
第17号	平成14年度荒川区一般会計補正予算(第3回)	○	○	○	○	○	○	○	可決
第18号	平成14年度荒川区介護保険事業特別会計補正予算(第1回)	○	○	○	○	○	○	○	可決
第19号	平成15年度荒川区一般会計予算	○	○	×	○	×	○	○	可決
第20号	平成15年度荒川区国民健康保険事業特別会計予算	○	○	×	○	×	×	×	可決
第21号	平成15年度荒川区老人保健医療特別会計予算	○	○	×	○	×	×	×	可決
第22号	平成15年度荒川区介護保険事業特別会計予算	○	○	×	○	×	○	○	可決
第23号	特別道荒299号線の路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	可決
第24号	特別道第161-2号線の路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	可決
第25号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(上村詳子氏)	○	○	○	○	○	○	○	可決
第26号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて(宇津井洋子氏)	○	○	○	○	○	○	○	可決
第27号	荒川区条例の左横書き等の整備に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決